



余養だよい

令和 6 年 7 月 25 日
令和 7 年度第 2 号
北海道余市養護学校発行

「1 学期を終えて～情報活用能力（デジタル技術の活用力）～」



副校長
本田 憲行

この 4 月に本校に赴任し、あっという間に 1 学期を終えることとなりました。
日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいております保護者の皆様に、
心より感謝申し上げます。

今年の夏は例年と大きく異なり、6 月から 7 月初旬にかけて本州のような蒸し暑さに見舞われました。しかし、昨年 10 月に設置されたクーラーが早期にその威力を発揮し、子どもたちだけでなく教職員も、より良い環境で授業に取り組むことができました。屋外での活動については、熱中症警戒アラートや天気予報をこまめに確認し、授業内容の検討や実施の可否を慎重に判断しながら、熱中症予防に努めております。2 学期が始まる 8 月末から 9 月にかけても暑さが続くことが予想されますので、引き続き十分注意してまいります。夏休み期間中、保護者の皆様におかれましても、お子様とともに熱中症に十分お気をつけください。

「今年度の重点目標と ICT の活用」

さて、今年度の本校グランドデザインでは、重点教育目標である「子どもたちが地域とともに学び、ともに成長する教育の推進」の達成を目指し、以下の 4 つの取り組みを進めています。

1. ICT を活用した教育の推進
2. 校務の DX 化と働き方改革の推進
3. 子どもたちも教職員もウェルビーイングな学校づくり
4. 本校と分校連携による専門性の向上

特に、ICT を活用した教育と校務の DX 化については、子どもたちへの直接的・間接的な指導や支援に様々なデジタル技術を導入することに繋がり、すでに保護者の皆様にもご協力いただいているところです。

具体的には、これまで電話で行っていた欠席連絡をフォームによる入力に、これも電話で行っていたスクールバスの運行状況を楽バスでの発信に、紙で行っていた学校からのお知らせを楽メによる発信にするなど、外部デジタルサービスを積極的に活用しています。これにより、教職員がより余裕を持って業務にあたることができるようになり、子どもたちと向き合う時間を増やすことに繋がっています。

昨今の急速な技術の進化により、私たちの日常生活の中に、多様な情報がデジタル技術とともに当たり前のように組み込まれ、その活用が問われる時代になりました。日々刻々と変化していく時代の中、子どもたちは多様な情報に触れて情報を取得し、デジタル技術を使いこなす一方で、私たち大人が情報の内容や、デジタル技術の使い方に戸惑う場面も多々あります。

このような現状を踏まえて、子どもたちの将来を考えたとき、多様な情報やデジタル技術を上手に活用する力を身につけることは、豊かな社会生活を送る上で非常に重要であると考えています。今年度の研究の一環として、本校でもこの情報活用能力（デジタル技術の活用力）について取り組んでいます。

情報活用能力（デジタル技術の活用力）は、学校での学びだけでなく、ご家庭での生活、そして将来の社会生活においても役立つ力となります。取り組みの内容によっては、保護者の皆様にご協力をお願いすることもあるかと存じますが、引き続き、本校の教育にご理解とご支援をお願いいたします。

最後になりますが、7 月 26 日から夏季休業となります。お子様と保護者の皆様の休み中の事故防止、及び熱中症をはじめとした体調の管理に十分ご留意ください。

「小学部（低ブロック）体育発表会」

今年度より体育館で開催となった体育発表会、暑い日が続く中練習を重ね、当日を迎えました。1年生は ①一人で玉入れ ②みんなで玉入れ を紅白に分かれて、2・3年生はサーキット（跳び箱、平均台、ボール運動）を披露しました。そして最後に全員リレーを行いました。

総練習では、見に来た高ブロックの先輩達と一緒にラジオ体操を行い、「上手だったね」などの励ましをくれました。

訪問部の友達もそろった当日は、多くの観客が見守る中、回を重ねて上達した姿を見ていただくことができました。普段の体育と同じ内容であっても、子ども達にとっては大きな行事です。その後の体育でもやる気がみなぎっていて、当日の応援や成功がいかに励みになったかが伝わってきました。



文責：倉岡

「小学部（高ブロック）体育発表会」

小学部では通常の運動会とは趣が異なる「体育発表会」を開催しました。これは、日頃の体育の授業での学習成果を発表する場として、また、発表までの準備と練習を一つの学習単位として捉え、発表会をその集大成と位置付けることを目的としていました。当初、開閉会式や紅白分けがないことに戸惑いを感じる児童もいましたが、高学年ブロックが器械運動とダンスを発表するという目標が見えてくると、子どもたちは意欲的に練習に取り組み始めました。器械運動では、マット運動、鉄棒、平均台、跳び箱の4種目に挑戦しました。どの技を発表するか試行錯誤したり、何度もひたむきに練習したりし、本番では成功の喜びを仲間と分かち合いました。ダンスは、嵐の「Turning Up」に合わせて披露しました。エアロビクスのステップやタオル体操の動きを取り入れ、子どもたち一人一人が輝かしいパフォーマンスを見せてくれました。子どもたち全員が高い意欲をもって練習に取り組み、その成果を存分に発揮し、笑顔で体育発表会を終えることができました。



文責：土本

「中学部 体育大会」

6月6日（金）に体育大会を行いました。

それぞれが体育館を1～2周走った「短距離走」では、練習を重ね教師の伴走なしで走ることができた生徒、靴が脱げてもゴール目指して走った生徒、狭い会場ならではのデットヒートが繰り広げられました。

ソーラン節にロゼ&ブルーノ・マーズの「APT（アパツ）」のサビ部分を取り入れた今年の「よっちょれ」。音楽の授業の他に登校後、毎朝練習を続けてきたこともあり、6人の1年生もしっかり振り付けを覚え、2・3年生と一緒に堂々とした踊りを披露しました。

最後に赤、青2チームに分かれ、スタート後、引いたボールに書かれた野球のバッティングかサッカーのシュートを行い、引いたポイントの合計で競い合う団体種目「ポイントゲットだぜ」を行いました。惜しくも敗れたチームも力を出しきり、生徒同士が握手を交わして、互いにたたえ合う姿も見られました。

天気の影響で残念ながら、体育館での開催となりましたが、保護者や関係者のみなさんの声援を受けて一人一人が自分の力を出し切ることができました。

（文責：宮本）



「高等部 見学旅行」

高等部3学年5名は5月28日から30日まで、2泊3日の見学旅行に行ってきました。

1日目は飛行機搭乗のための荷物の預け入れや保安検査に緊張しながらも、搭乗を歓迎するパイロットさんのアナウンスに生徒たちは感激でした。東京の池袋にある大和サンプル製作所では食品サンプルづくりに挑戦し、パフェやタルトを本物そっくりに作ることができました。

2日目のディズニーランドのグループ行動では、アトラクション、買い物、キャラクターとの記念撮影など、計画をもとに存分に楽しむことができました。

3日目の羽田空港の見学では、最後の買い物をした後、昼食のお弁当を食べ帰路につきました。

体調不良なく、全員で貴重な経験ができました。見学旅行に関わり、保護者の皆様やたくさんの方々の方々の御協力をいただき感謝しております。ありがとうございました。

（文責：阿部）



「訪問教育学級 みどりの里体育交流会」

6月10、12日に病棟リハビリテーションホールにて行われたみどりの里体育交流会の様子をお伝えします。久しぶりに保護者参観のもと、今年の体育交流会は全員で同じ種目に取り組みました。各病棟3～6人グループで4回の発表をしました。各回選手宣誓を行いました。一つ目の種目は、玉入れです。余市特産のリンゴに見立てたボールなどを、それぞれの方法で、同じ籠に入れました。二つ目の種目は風船バレーです。順番に鈴の入った紐付きの風船を打って、BGMの流れている間パスをつなぐことができました。

そして三つ目の種目は、カラーポリ袋に一人一人が装飾をしたバルーンを使ったダンスです。『手のひらを太陽に』の音楽に合わせて、みんなで一緒に体を動かしました。保護者や職員の皆様から、たくさんの声援を受けて、大きく盛り上がった体育交流会となりました。

文責：北



「寄宿舍生活の様子」

令和7年度、寄宿舍は小学部1名、高等部6名の7名でスタートしました。寄宿舍生活では、集団生活を通して仲間と協力しながら生活を楽しみ、自分でできることを少しずつ増やせるよう、毎日の日課や活動に取り組んでいます。舎生たちは、身の回りの掃除を協力して行ったり、余暇時間に一緒に遊んだり、仲間意識を育みながら生活しています。また寄宿舍では余市町の地域資源を活用した活動も行っており、先日は余市神社祭に参加しました。舎生にとっては楽しい余暇の時間となるとともに、地域とのつながりを広げる貴重な機会となりました。来学期も地域資源を活用した外出や体験活動などさまざまな取り組みを計画していく予定です。



☆2学期の主な行事

・8月25日

第2学期始業式

・9月11日～12日

小学部5年宿泊研修

・9月12日

高等部記録会

・9月24日～26日

中学部3年見学旅行

・10月7.9.10日

みどりの里学習発表会

・10月24日

中学部学習発表会・高等部祭

・10月31日

小学部低学年音楽発表会

・11月7日

小学部高学年学習発表

・12月25日

第2学期終業式

